

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	認知症高齢者の理解を深めるためのアセスメント、課題分析、支援を職員皆で共有していきたい。	ひもとききシートの利用をして情報収集、課題分析、ケアプランの作成につなげ利用者の思いに沿った根拠ある支援が行えるようにしていく。	○ケアプラン更新時一人の利用者についてひもとききシートの記入をしながら情報収集、課題分析を行う。 ○利用者の心理状況、共感的理解を深める。 ○利用者の思いに沿った具体的支援内容を職員で共有する。	3ヶ月
2	35	災害時の地域の方の協力が得られることになっているが地域住民の具体的な役割づくりができていない。	地域住民の協力を得て夜間を想定した避難訓練の実施を行う。	○地区会に参加し、地域の方に協力を求める。 ○地域の方に施設の行事の参加を呼びかけ施設のつくりや利用者の様子を知ってもらう。 ○災害時の地域住民の協力体制について具体的な役割づくりを地区役員消防団と一緒に考える。 ○夜間を想定した避難訓練に地域住民の協力を得る。	12ヶ月
3	33	利用者の高齢化に伴い重度化や終末期における医療体制や看取り体制について具体的な体制の整備や書面での取り交わしを行っていきたい。	職員一人一人が重度化や終末期に対応できるよう家族、医療関係者との連携や研修を行い、スキルアップをしていく。	○協力医の協力体制の確認を行う。 ○家族の意向の確認を行う。 ○医師や看護師による看取りについての研修を行う。 ○重度化や終末期における書面の作成を行う。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。